

一級自動車工学科

2026年度 授業計画

時期	3年B巡	単元	実習	教科名	AT	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産T S 2級 (AT編)		発行日	2026年4月1日
			授業ノート (正常値記入、測定値記入)			
総時限	47時限		(ファイル記録、異常まとめ)		教科 担当	多賀
総時間	75.2時間					鈴木
単位数	2					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの構造・作動について指導する。

2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

- ① C V Tの制御を学ぶ。
- ② 電氣的不具合、機械不具合の故障診断を学ぶ。

3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)

- ① C V Tの制御を理解する。
- ② 各センサ、アクチュエータ系統の断線、短絡の故障診断ができる。
- ③ 自己診断表示が出ない不具合 (難解不具合) に対して、理論的に考え診断をすることができる。

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験100点にて評価する。
70点以上で合格
- 2) 出題試験項目
断線、短絡による不具合の故障診断
 - ・自己診断の確認
 - ・不具合系統の判断
 - ・電圧、抵抗、電流値 (オシロスコープによるデューティ値での判断) の測定及び、不具合箇所の特

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項を学習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修 (予習・復習など) 15～0時間である。

